

---

# 110話 オシャレな家

吉川明人

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

110話 オシャレな家

### 【Nコード】

N2152L

### 【作者名】

吉川明人

### 【あらすじ】

シヨートシヨートです。最近、結婚して新居を構えたばかりの親しい同僚の様子がおかしい。詳しく尋ねると、彼が話してくれたのは……。

最近、結婚して新居を構えたばかりの親しい同僚の様子がおかしい。

まだ幸せいっぱいの時期なのに、すっかりやつれている。

奥さんと何かあったのか尋ねると「何もない。むしろ心配なんだ」と言う。

詳しく尋ねると、他の者には言わないようにと話してくれたのは……。

「幽霊が出る」

と言うのだ。

にわかには信じられなかったが、真剣な表情からウソをついているようには見えない。

次の休日。

奥さんとは結婚前から知り合いだったとはいえ、初めて新居を訪ねた。

住所を便りに到着したそこは、ボクと同年代の若い世代中心の新興住宅地だ。

門柱や垣根に鉄道の廃材の枕木を利用してあったりと、オシャレな雰囲気をかもし出している。

同僚の家もその一つだった。

チャイムを鳴らして出てきた奥さんは、すっかりやつれ果てている。

正直、同僚の話はマユツバに聞いていたが、この様子はただ事じゃない。

手土産もそこそこに、2人の話を聞くと……毎晩11時54分に、庭から“ドーン！”と音がした直後、血まみれの見知らぬ男が床を這いずり回るといったのだ。

おかげで生活はメチャクチャ。

不動産屋に訴えてもまともな返答はなく、知り合いの坊主に頼んでも治まらなかったそうだ。

本当ならボクに何かできるはずもない。

話を聞いて、早々に立ち去りたかったけど、2人にどんなものか泊まって一緒に見てくれと懇願され、シブシブ引き受けることにした。

恐さを紛らわすため3人で飲んでいるうちに、幽霊のことなんか

すっかり忘れて盛り上がった。

ドーンー！

ところが、庭から音が響いたとたん、一気に酔いが醒めた。

……ズツ

……ズルツ

……ズルズズツ

……来た。

ギイッ

ひとりでにキッチンのドアが開き、血まみれの男が異様な顔つき

で床を這いずっている。

ソファーに飛び乗ったボクは、堅く目をつぶり、足下を這う男が出て行くのを震えながら待つしかなかった。

恐かった。

ハンパなく恐かった。

毎晩あんなものが出るなんて……しかも、夫婦の寝室にまで来るなんて、耐えられない。

同僚と奥さんのやつれた顔が、身をもって実感できた。

あれから数日後、奥さんはいったん実家に戻ることになった。

同僚は通勤の都合やローンのこともあって、あの家から通っている。

精神を破綻させずにいるのは、奥さんのためと、ボクが理解者となっていることも少しは関係あるのだろうか？

ボクはネットや知り合いのツテを借りて、なんとかできないか探し続けた。

ある日、都市伝説とは違う、気になるHPを見つけた。

同僚の家とも関係あるかもしれない。

見つけたHPを見せ、休みの日に一緒に調べる約束をした。

やがて、あの家に血まみれの男が出ることはなくなった。

奥さんも戻ってきて、ようやく幸せな日々を手に入れてくれたように、ボクもホッとしている。

来年の初めには子供も生まれる予定だ。

もしボクが結婚して、新居を手に入れることがあっても、絶対にあれを使うことはない。

大量の廃材の中にはそういうのも混ざってしまうだろう。

ドーンという音が、事故なのか自殺なのかは……分からない。

門柱に使われていた鉄道の枕木には、男の血がしみ込んでいたのだ。

オシャレな家に使われている大量の鉄道の枕木が、事故に巻き込まれた部品じゃない保証なんてないんだから。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2152/>

---

110話 オシャレな家

2010年11月24日09時34分発行